

第 93 回

トラック運送業界の景況感（速報）

平成28年1月～3月期

平成28年1月～3月期は、中国等の新興国における景気減速や株安等により、これまで好調だった企業業績に変調がみられた。さらには年明けからの急速な円高は、輸出企業を中心に採算を圧迫した。今後、景気後退が明確化すれば、設備投資、賃上げ等にも影響を及ぼす恐れがある。

このような状況において、トラック運送業界の1月～3月期は、「宅配貨物」では全体的に改善傾向にあったが、「一般貨物」及び「宅配以外の特積貨物」では、営業収入及び営業利益が悪化となった。更に、燃料単価の下落による荷主等からの運賃引下げ圧力に晒され、運賃水準も若干の悪化となった。これらのことからトラック運送業における経常利益は悪化した。

以上の状況を反映し、景況感の判断指標は前回（▲18.2）から▲30.9となり、12.7ポイント悪化した。なお、来期の見通しとなる景況感の判断指標は、海外景気の後退と円高を背景に、景気後退懸念が再燃し、今回より9.8ポイント悪化し、▲40.7の見通しとなっている。

平成28年5月13日

公益社団法人 全日本トラック協会

1. 今回（平成28年1月～3月期）の状況

① 概況

平成28年1月～3月期におけるトラック運送業界の景況感は、「好転」とした事業者は13.2%（前回17.5%）、「悪化」とした事業者は39.6%（前回31.4%）で、判断指標は▲30.9となり、前回（▲18.2）から12.7ポイントの悪化となった。

② 一般貨物

一般貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が36.7%、「増加」とする事業者が18.9%で、判断指標は▲23.6となり、前回（▲16.5）から7.1ポイント悪化した。営業収入は「減少」とする事業者が35.7%、「増加」とする事業者が23.5%で、判断指標は▲16.0となり、前回（▲10.3）から5.7ポイント悪化した。営業利益は「減少」とする事業者が32.1%、「増加」とする事業者が27.6%で、判断指標は▲8.6となり、前回（2.4）から11.0ポイント悪化した。

③ 特別積合せ貨物

宅配貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が24.2%、「増加」とする事業者が24.2%で、判断指標は▲3.0となり、前回（▲29.0）より26.0ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が21.2%、「増加」とする事業者が36.4%で、判断指標は12.1となり、前回（▲29.0）よりも41.1ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が27.2%、「増加」とする事業者が21.2%で、判断指標は▲9.1となり、前回（▲19.4）よりも10.3ポイント改善した。

宅配以外の特積貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が41.8%、「増加」とする事業者が16.4%で、判断指標は▲25.5となり、前回（▲30.4）から4.9ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が36.4%、「増加」とする事業者が21.8%で、判断指標は▲14.5となり、前回（▲7.1）から7.4ポイント悪化した。営業利益は「減少」とする事業者が27.3%、「増加」とする事業者が23.6%で、判断指標は▲5.5となり、前回（21.4）から26.9ポイント悪化した。

④ 運賃・料金水準

運賃・料金水準は一般貨物▲3.0（前回0.4）と3.4ポイント悪化、宅配貨物は15.2（前回12.9）と2.3ポイント改善、宅配以外の特積貨物は18.2（前回21.4）から3.2ポイント悪化となっている。

⑤ 実働率等

実働率は▲17.8（前回▲13.4）と4.4ポイント悪化、実車率は▲16.2（前回▲12.3）となり、3.9ポイント悪化となった。

雇用状況（労働力の過不足）は72.2（前回78.8）と6.6ポイント低下し、不足感が弱くなった。採用状況は▲1.6（前回▲4.0）で2.4ポイント増加し、所定外労働時間は▲9.4（前回▲11.4）と2.0ポイント増加している。貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は▲5.1（前回▲3.8）で1.3ポイント減少となった。経常損益は▲1.3（前回8.3）となり、指標は9.6ポイント悪化となった。

⑥ 規模別及び取扱い品目別、地域別

事業者の規模別では、大規模事業者は▲10.9（前回▲11.1）と0.2ポイント改善、中規模事業者は▲32.1（前回▲13.9）となり、18.2ポイント悪化、小規模事業者は▲38.2（前回▲26.8）と11.4ポイント悪化となっている。

一般貨物における主な取扱い品目別については、消費関連貨物は▲15.6（前回▲8.8）と6.8ポイント悪化、建設関連貨物は▲55.4（前回▲15.5）と39.9ポイント悪化、機械関連貨物は▲23.9（前回▲14.9）と9.0ポイント悪化しており、その他貨物は▲37.9（前回▲26.3）と11.6ポイント悪化している。

一般貨物について業界の景況感を地域別にみると、四国は水準を上げているが、それ以外の地域は水準を下げている。

2. 今後（平成28年4月～6月期）の見通し

① 概況

平成28年4月～6月期の見通しは、業界の景況感の判断指標は▲40.7で、今回から9.8ポイント下げる見込み。

② 一般貨物

一般貨物について、輸送数量はやや悪化、営業収入、営業利益は悪化の見込みである。

③ 特別積合せ貨物

宅配貨物について、輸送数量、営業収入、営業利益ともに悪化の見込みである。

宅配以外の特積貨物について、輸送数量、営業収入は横ばい、営業利益は悪化の見込みである。

④ 運賃・料金水準

一般貨物はやや低下の見込み、宅配貨物、宅配以外の特積貨物は低下の見込みである。

⑤ 実働率等

実働率及び実車率はやや悪化の見込みである。雇用状況（労働力の過不足）は指標の水準をやや上げ、不足感が強まる見込みである。採用状況は、水準を僅かに下げ、減少の見込みである。所定外労働時間、貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は水準を僅かに下げ、経常損益は指標の水準を下げる見込みである。

⑥ 規模別および取扱い品目別、地域別

事業者の規模別では、大規模事業者、中規模事業者においては悪化、小規模事業者においてはやや悪化の見込みである。

一般貨物における主な取扱い品目別では、建設関連貨物は水準を僅かに上げ、消費関連貨物は水準をやや下げ、機械関連貨物、その他貨物は水準を下げる見込みである。一般貨物における地域別では、北海道がやや水準を上げると回答している。

3. トピックス（人材不足、雇用状況について）

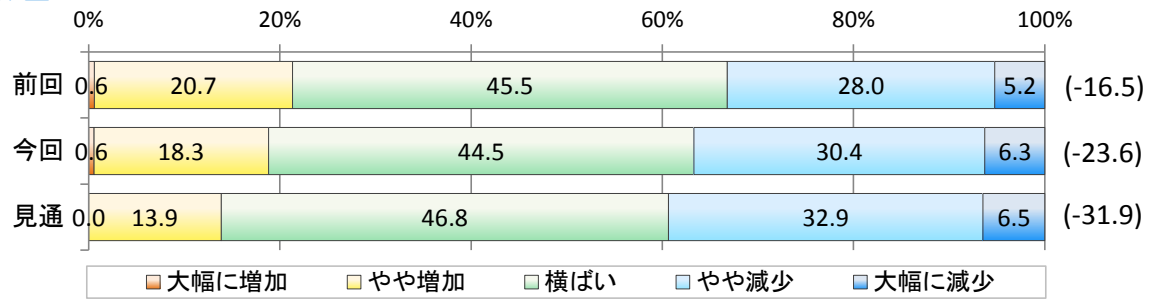
トラック運送業界では、必要なドライバーの員数を確保できないなど人材不足の状況にあることから、実態をより具体的に把握するため、人材不足について追加で質問した。

その結果、必要な人材が確保できていない割合は全体の68.0%である。人材不足による問題として、「繁忙期のみ、運行業務に支障が出ている」（44.5%）、「通年にわたり運行業務に支障が出ている」（25.3%）となっている。

また、人材不足による運行業務への影響としては、「仕事を断ることがある」（42.9%）が最も多く、「備車の依頼を増やすことがある」（41.2%）、「ドライバーの時間外労働時間を増加させることがある」（36.1%）となっている。

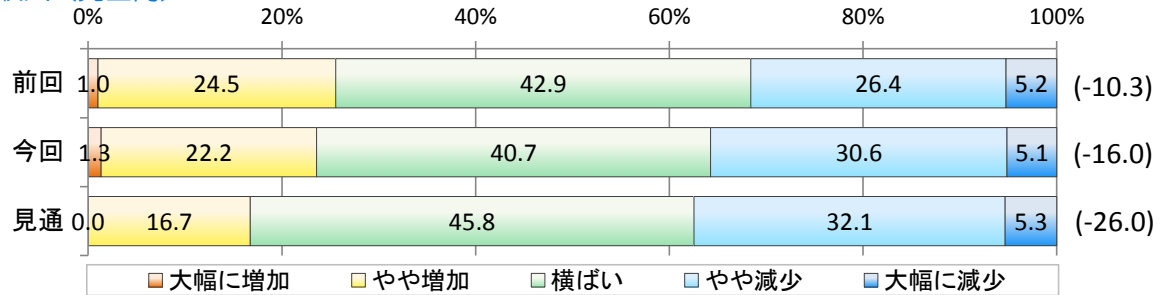
4. 一般貨物の概況

■ 輸送数量



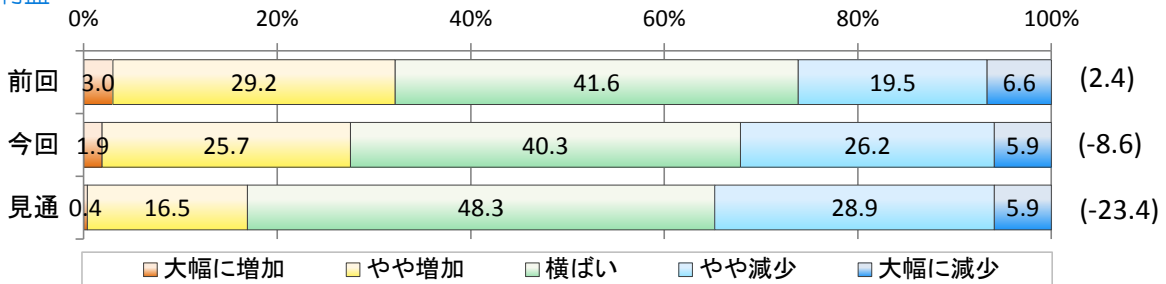
- ・前回より7.1ポイント悪化した。
- ・今後は水準をやや下げる見込み。

■ 営業収入 (売上高)



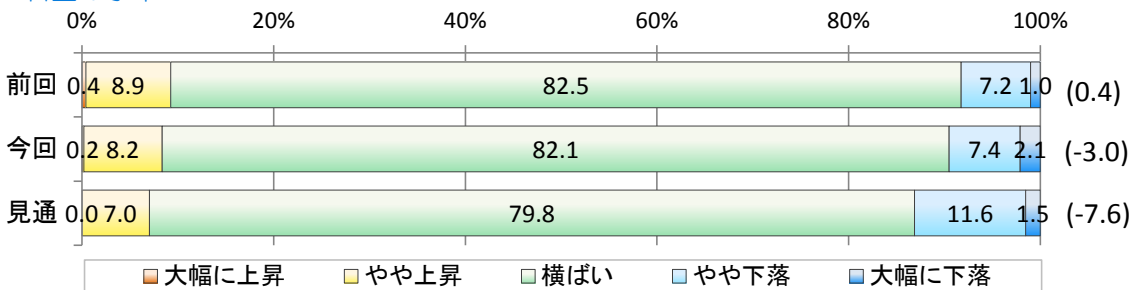
- ・前回より5.7ポイント悪化した。
- ・今後は水準を下げる見込み。

■ 営業利益



- ・前回より11.0ポイント悪化した。
- ・今後は水準を下げる見込み。

■ 運賃・料金の水準



- ・前回より3.4ポイント悪化した。
- ・今後は水準をやや下げる見込み。

【調査の概要】

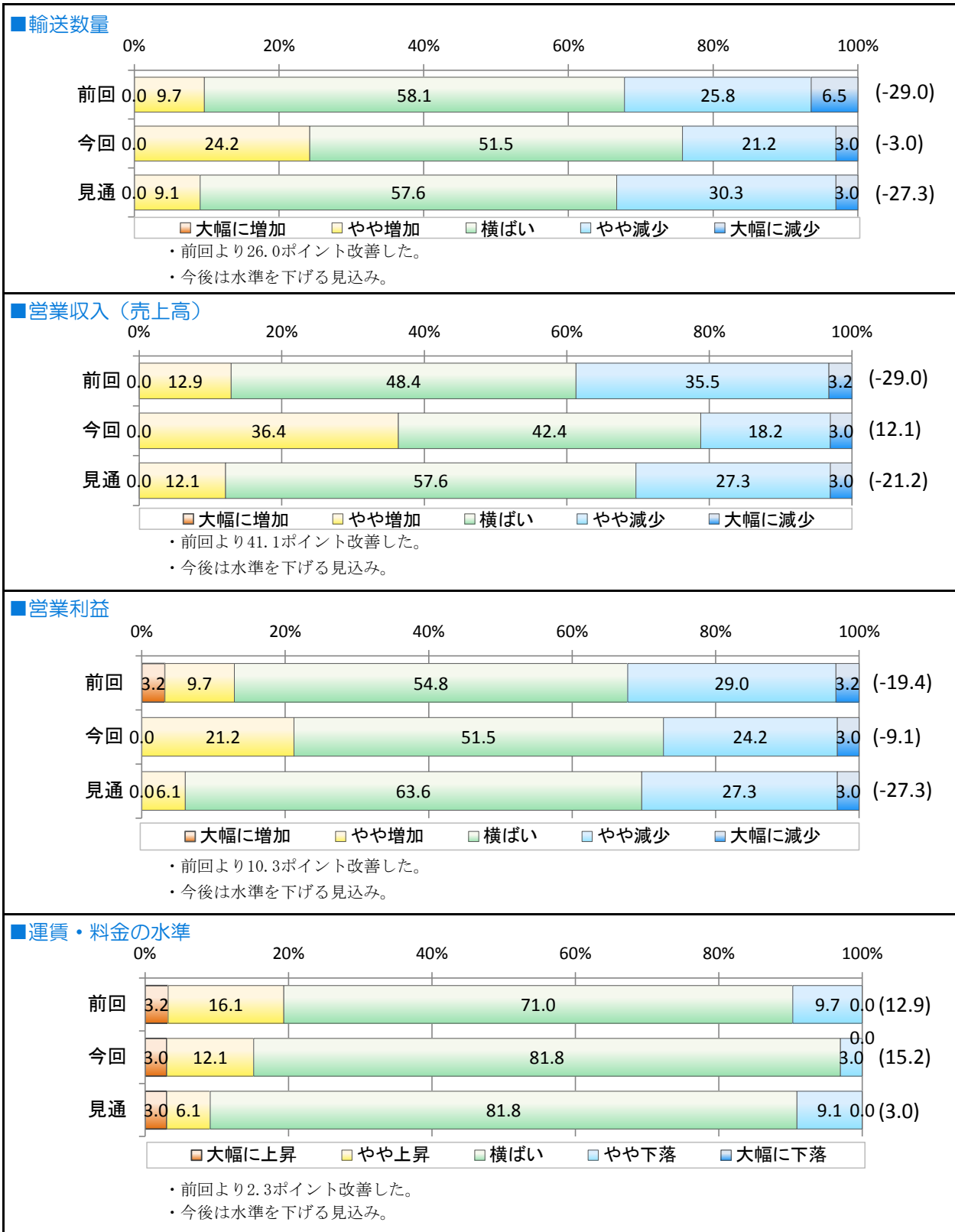
平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。第93回調査は、平成28年4月11日に、モニターに対して調査開始。平成28年5月2日回収分までを集計。

特積	一般	回答事業者全体
68	526	551

※一部回答事業者の重複あり

5. 特積貨物の概況

① 宅配貨物



(注1) 各グラフの上段は前回(H27.10月～12月期)の状況、中段は今回(H28.1月～3月期)の状況、下段は今後(H28.4月～6月期)の見通しを示す。いずれも前年同期比を集計している。

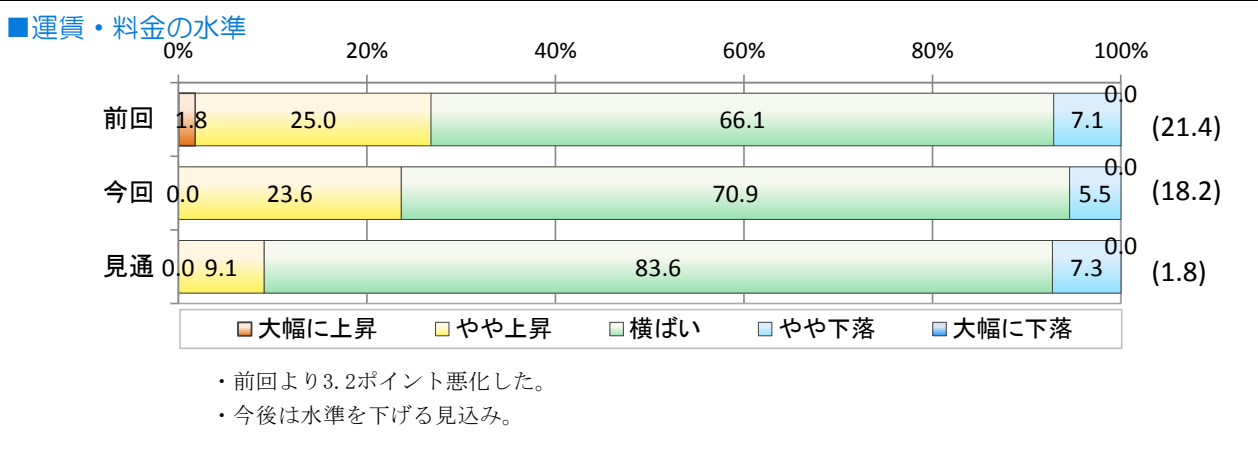
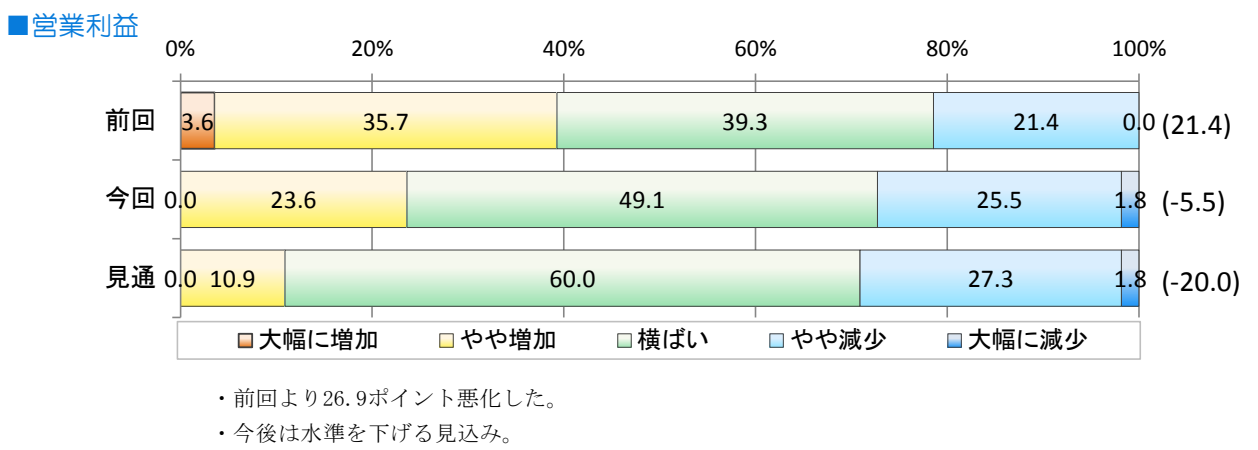
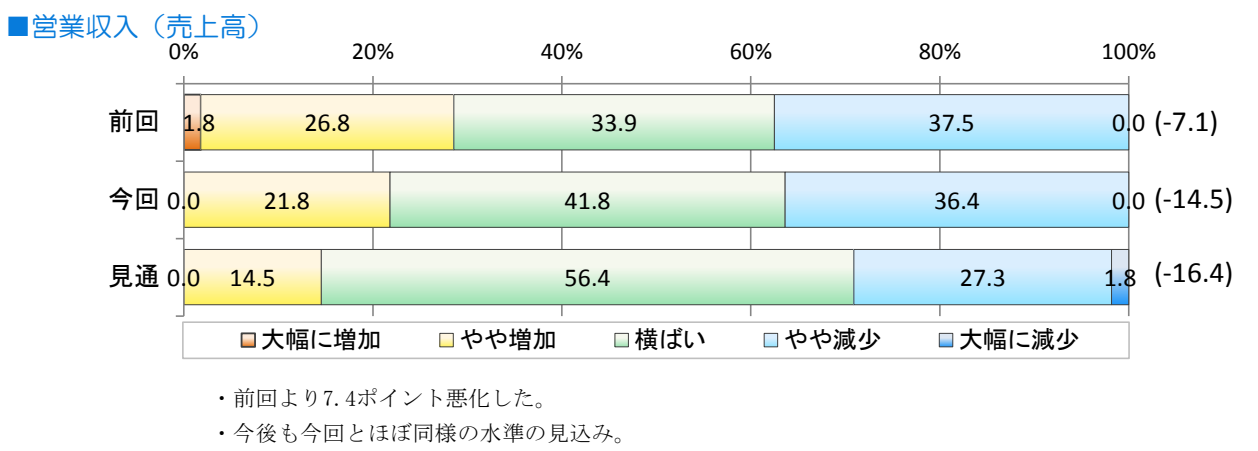
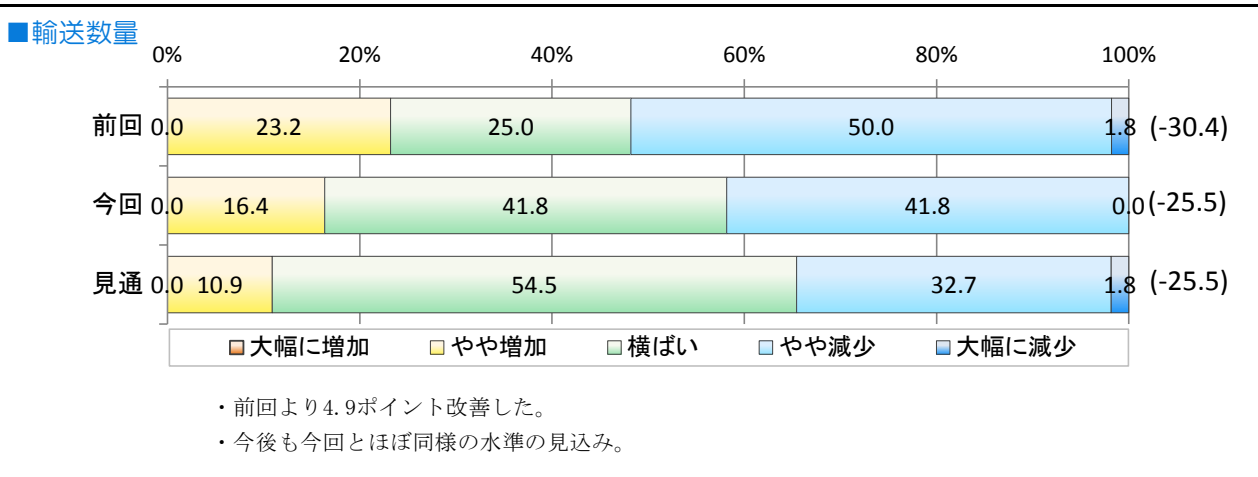
(注2) 各グラフの構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

(注3) グラフ右のカッコ内は業況判断指標。指標は、各設問の回答に対し、大幅に増加・上昇・好転、労働力不足+2、やや増加・上昇・好転、労働力不足+1、横ばい0、やや減少・低下・悪化、労働力過剰-1、大幅に減少・低下・悪化、労働力過剰~-2の点数を与え、1事業者当たりの平均を100倍することにより算出している。

A (設問Aの回答者数) = a1+a2+a3+a4+a5 (設問Aの選択肢1～5の回答数の和)

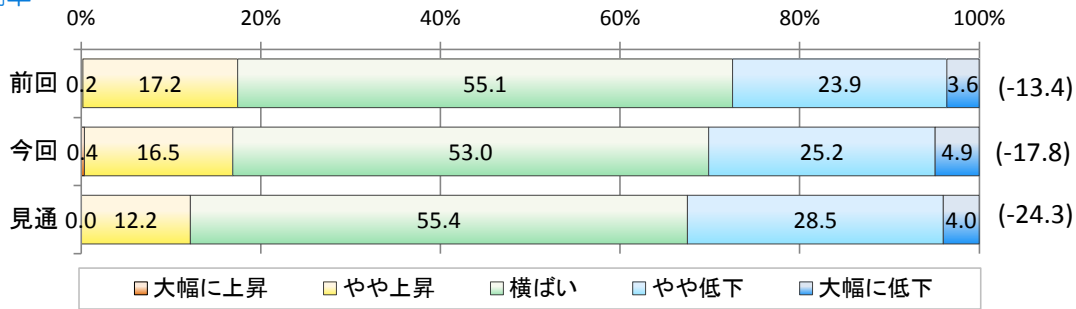
指標 = {(+2×a1) + (+1×a2) + (0×a3) + (-1×a4) + (-2×a5)} ÷ A × 100

② 宅配以外の特積貨物



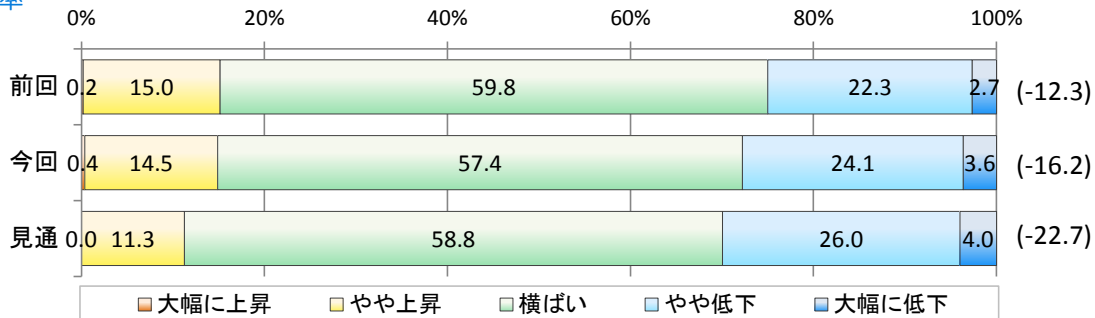
6. 共通の概況

■ 実働率



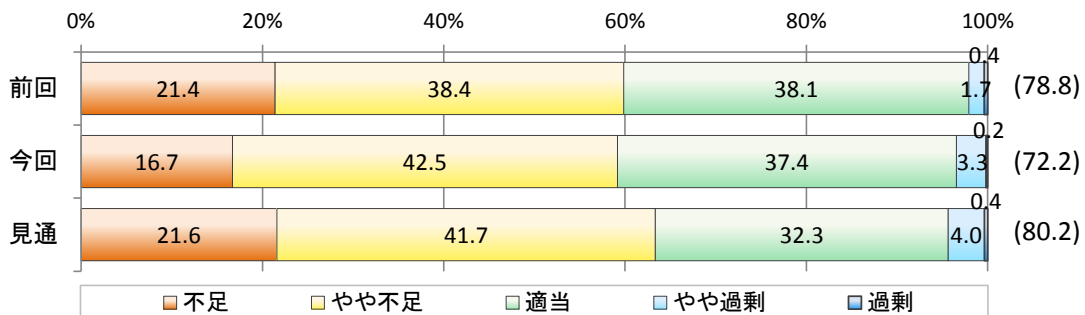
- ・前回より4.4ポイント悪化した。
- ・今後は水準をやや下げる見込み。

■ 実車率



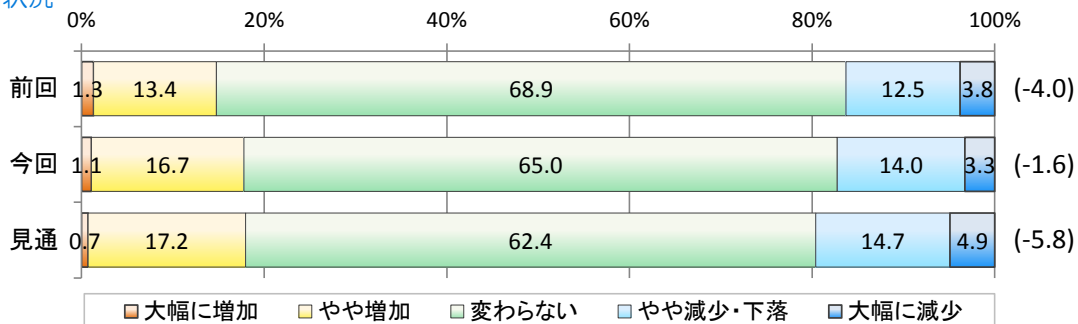
- ・前回より3.9ポイント悪化した。
- ・今後は水準をやや下げる見込み。

■ 雇用状況（労働力の過不足）^(注4)



- ・前回より6.6ポイント低下した（不足感が弱くなった）。
- ・今後はやや水準を上げる見込み。

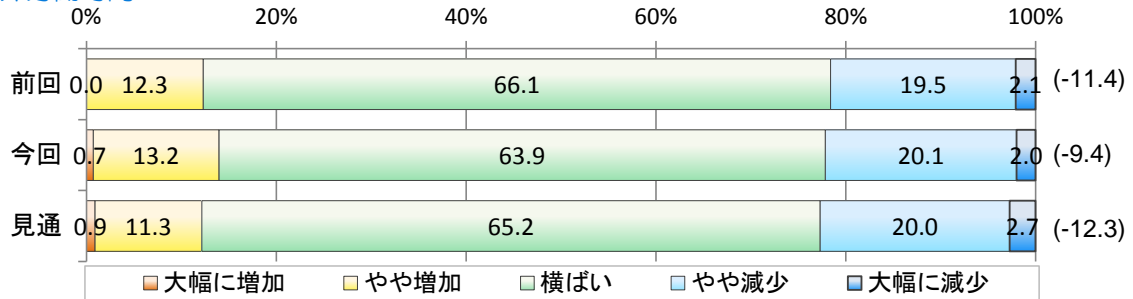
■ 採用状況



- ・前回より2.4ポイント増加した。
- ・今後は水準を僅かに下げる見込み。

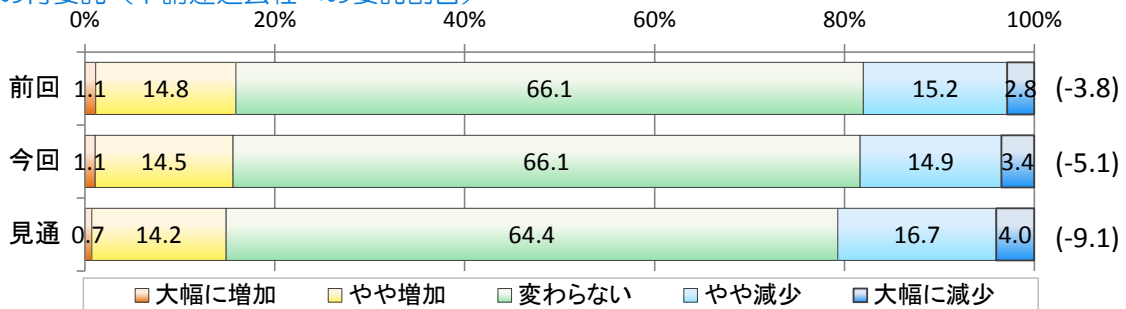
(注4)雇用状況については、上段は前回(H27.10月～12月期)の状況、中段は今回(H28.1月～3月期)の状況、下段は今後(H28.4月～6月期)の見通しを示しているが、前回及び今回は前年同期比ではなく「その期の状況」を見通しは「前年同期比の見通し」を質問している。

■ 所定外労働時間



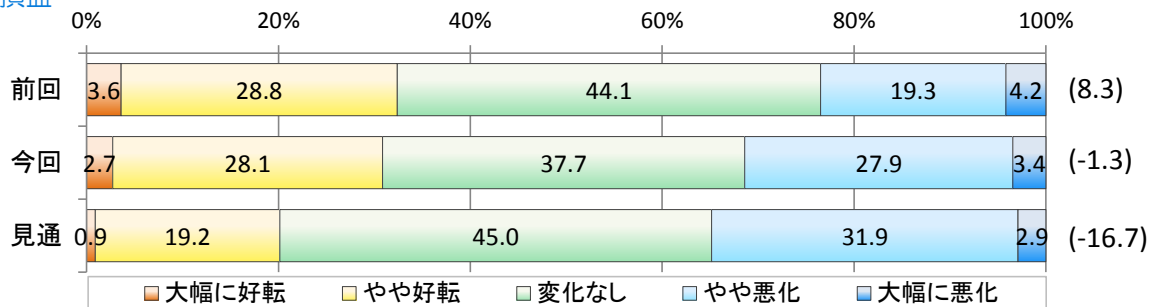
- ・前回より2.0ポイント増加した。
- ・今後は水準を僅かに下げる見込み。

■ 貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）



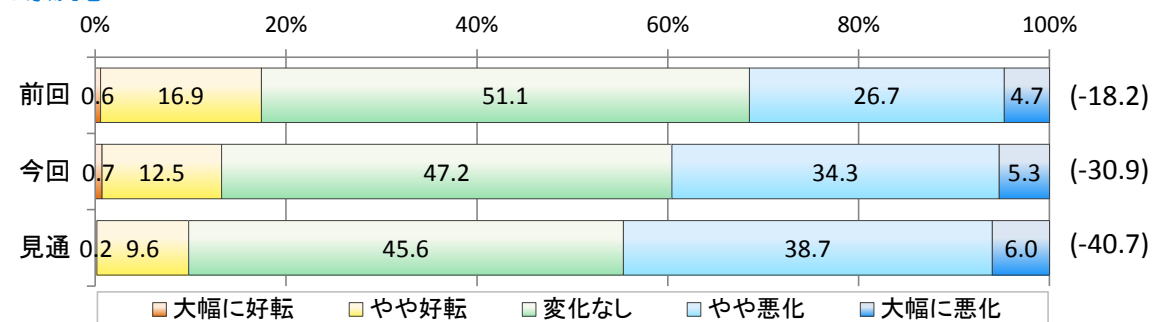
- ・前回より1.3ポイント減少した。
- ・今後は水準を僅かに下げる見込み。

■ 経常損益



- ・前回より9.6ポイント悪化した。
- ・今後は水準を下げる見込み。

■ 業界の景況感

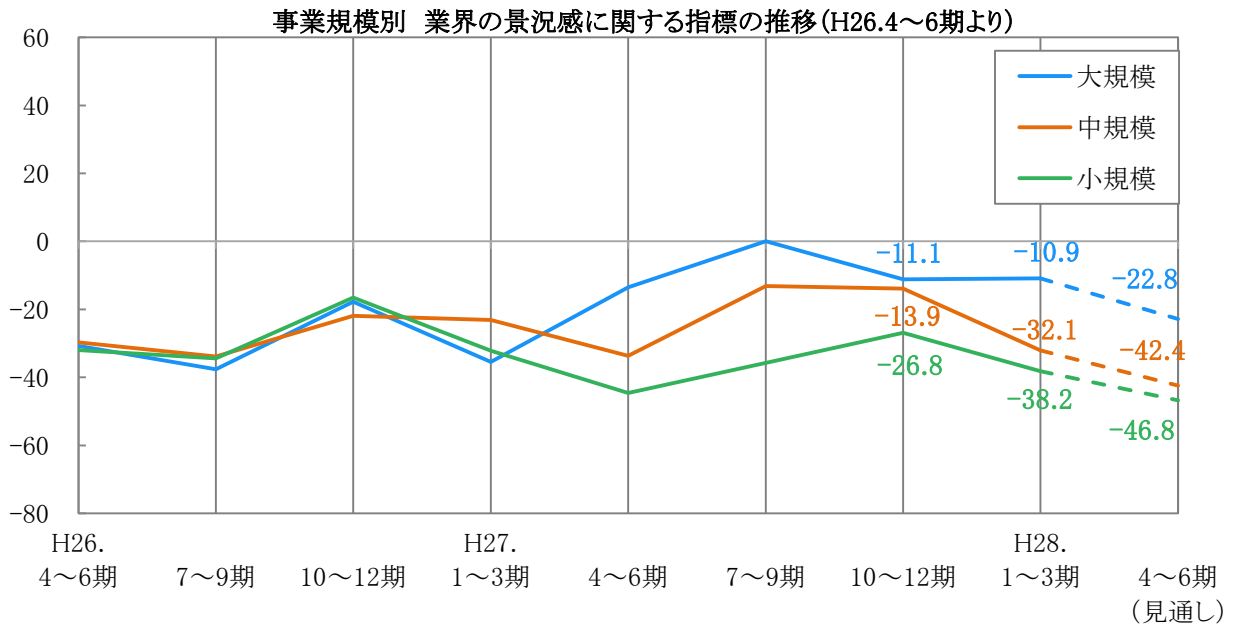


- ・前回より12.7ポイント悪化した。
- ・今後は水準を下げる見込み。

7. 事業者特性別の特徴

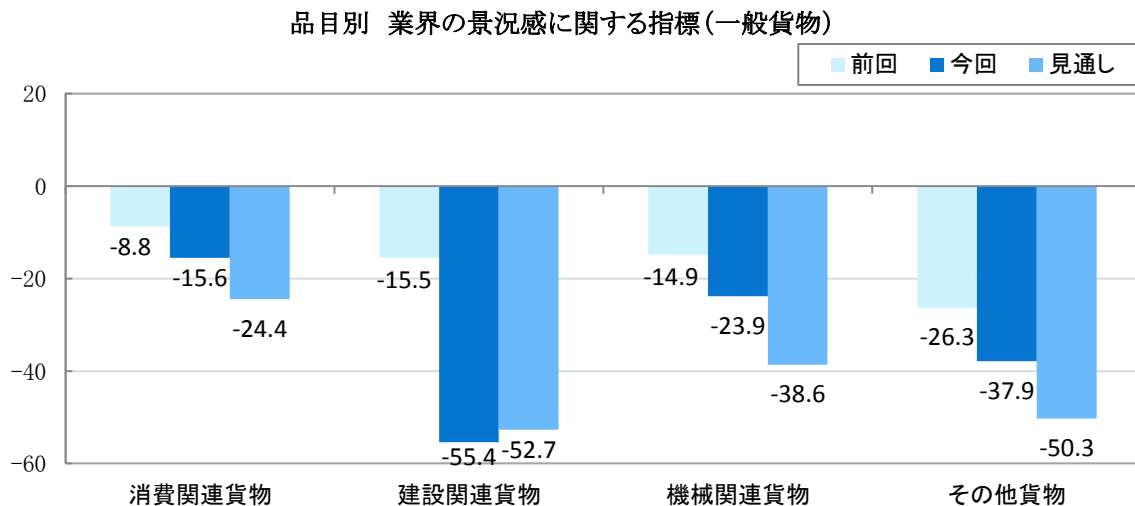
① 規模 (注5)

- ・事業規模別の景況感は前回と比べ、大規模事業者は横ばいだが、小規模事業者、中規模事業者は悪化している。
- ・今後は大規模事業者、中規模事業者においては悪化、小規模事業者においてはやや悪化の見込みである。



② 品目 (注6)

- ・「消費関連貨物」を扱う事業者では、前回と比べ景況感水準をやや下げており、今後もやや下がる見込みである。
- ・「建設関連貨物」を扱う事業者では、前回と比べ景況感水準を下げており、今後はやや上がる見込みである。
- ・「機械関連貨物」を扱う事業者では、前回と比べ景況感水準をやや下げており、今後も下がる見込みである。
- ・「その他貨物」を扱う事業者では、前回と比べ景況感水準を下げており、今後も下がる見込みである。



(注5) 規模別分類

大規模事業者：101両以上 中規模事業者：21両以上100両以下 小規模事業者：20両以下

(注6) 品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品（セメント等）など

機械関連貨物：電気機械（家電含む）、輸送機械（自動車等）など

その他貨物：石炭、原油、石油、化学、紙・パルプなど

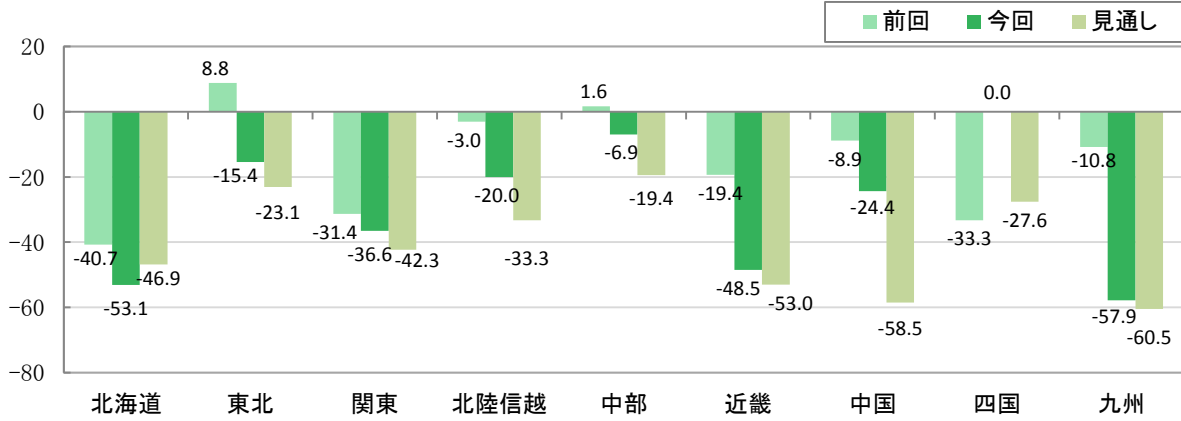
品目別業界の景況感に関する指標は、「一般貨物」の輸送品目について1位の回答を反映している。

③ 地域 (注7)

・一般貨物について業界の景況感を地域別にみると、四国においては水準を上げている。他方、四国以外の地域においては水準を下げている。

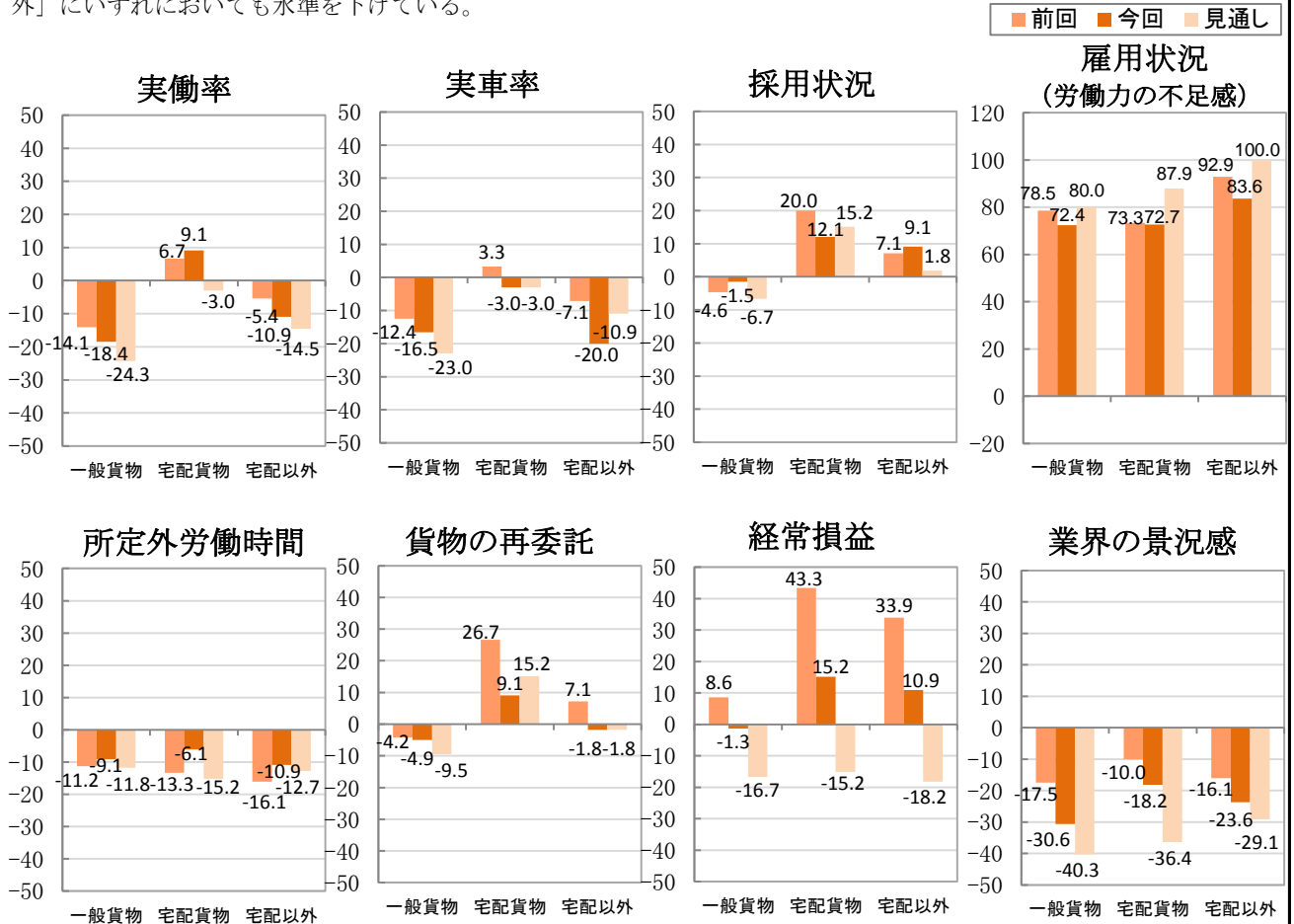
・今後は、水準を上げると回答している地域は北海道のみである。

地域別 業界の景況感に関する指標(一般貨物)



④ 事業形態別 (注8)

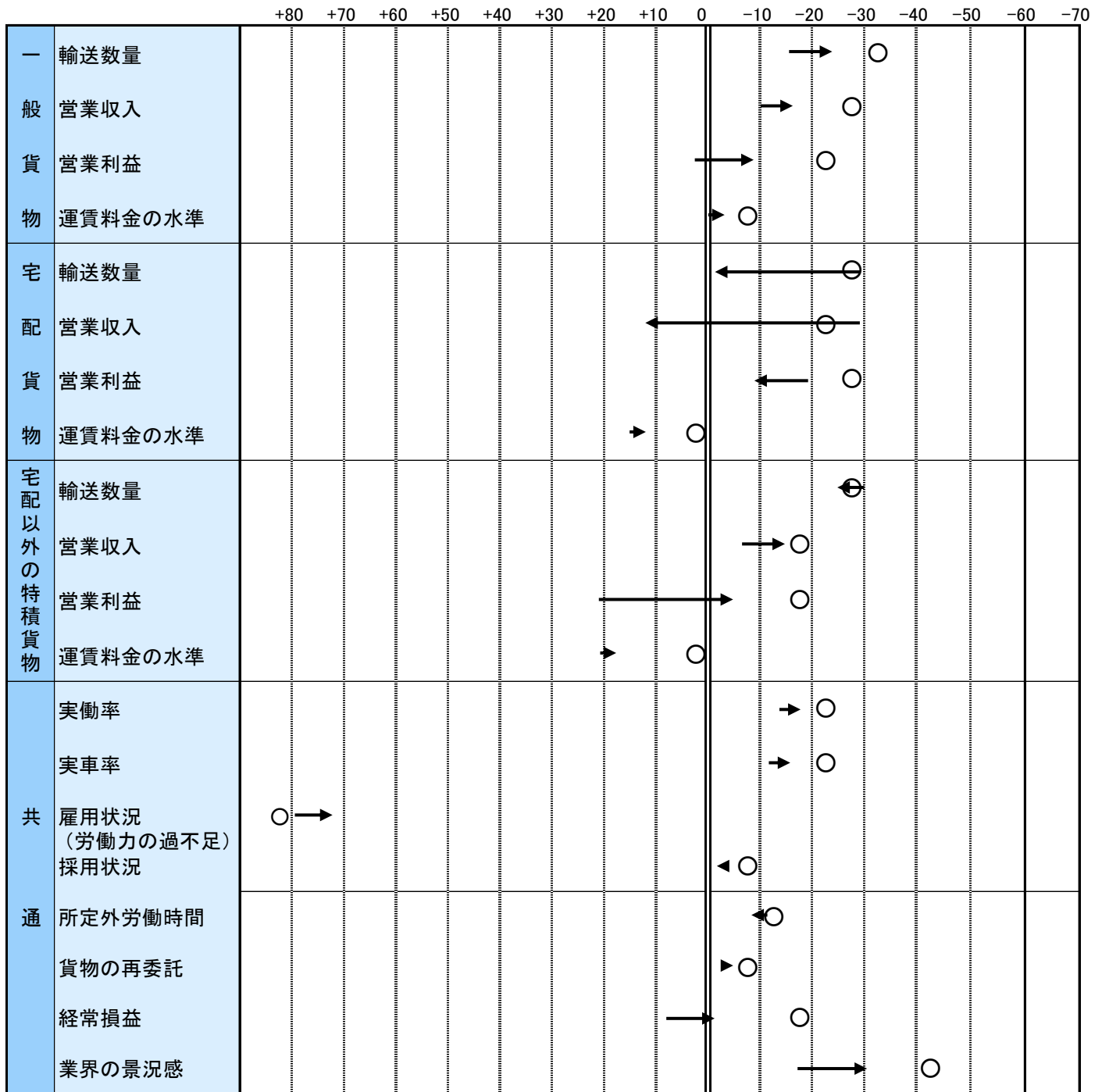
・事業形態別の景況感は、「一般貨物」においては水準を下げ、「宅配貨物」「宅配以外」においてはやや水準を下げている。また変化が顕著であった項目として、実車率については、「宅配以外」で水準を下げている。雇用状況は、「一般貨物」「宅配以外」においては不足感がやや弱くなっている。経常損益は、「一般貨物」「宅配貨物」「宅配以外」にいずれにおいても水準を下げている。



(注7) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。なお、グラフは一般貨物の事業者のみ集計している。

(注8) 事業形態の分類は、「一般貨物」及び「宅配貨物」「宅配以外の特積貨物」である。

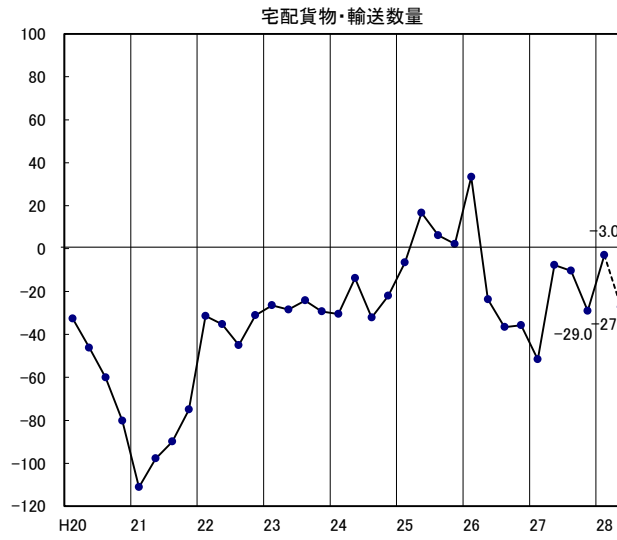
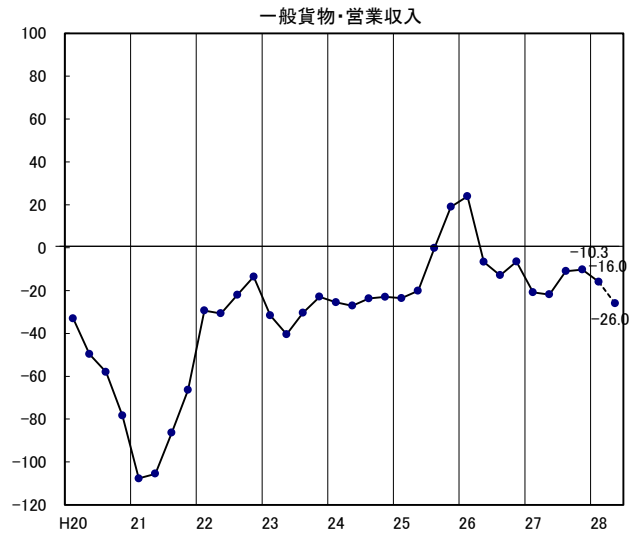
8. 業況判断指標の前回調査（平成27年10月～12月期）からの変化



凡例
 矢元：10-12月期の実績
 矢先：1-3月期の実績
 白丸：4-6月期の見通

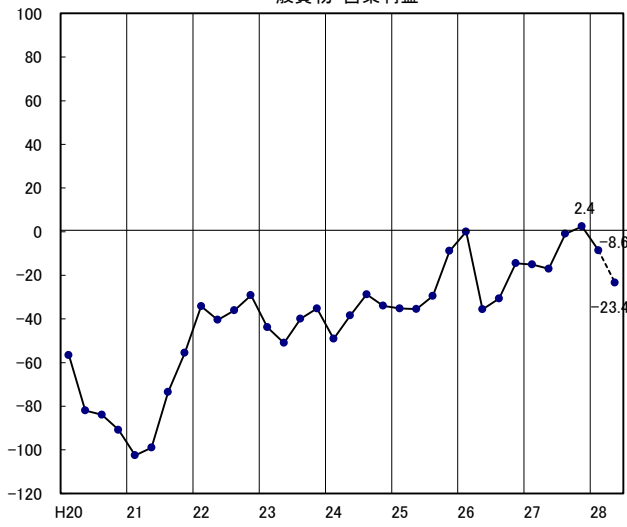
9. 業況判断指標の推移

平成20年～平成28年第2四半期見通し

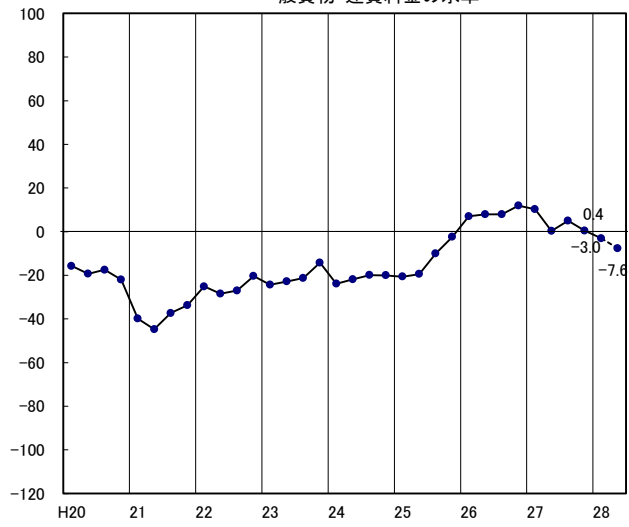


平成20年～平成28年第2四半期見通し

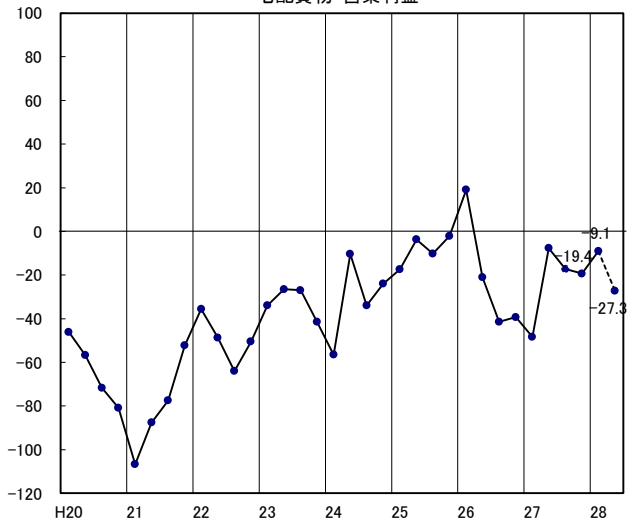
一般貨物・営業利益



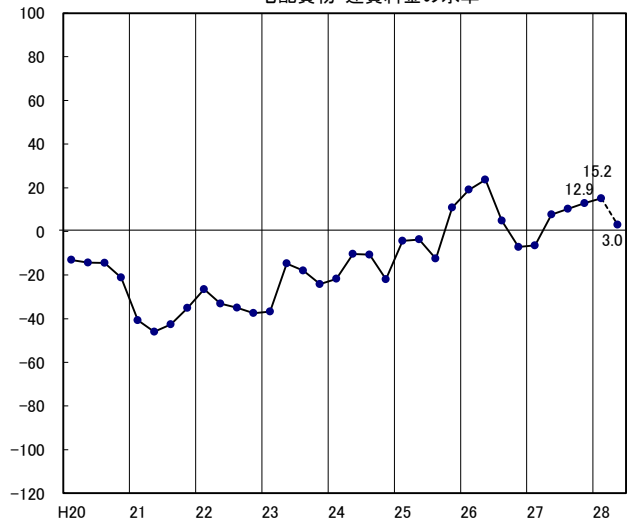
一般貨物・運賃料金の水準



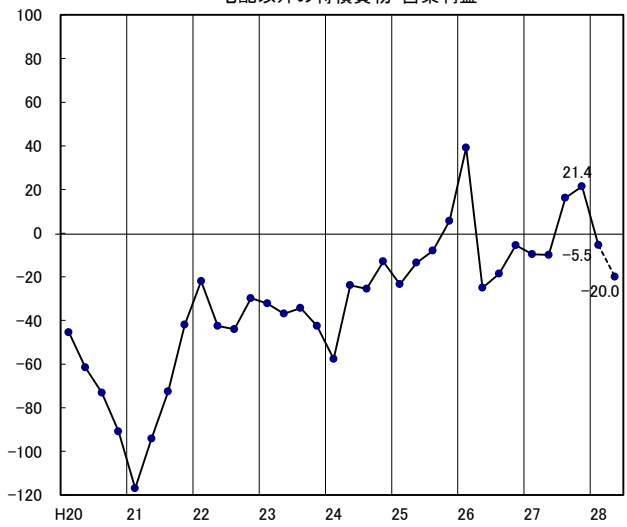
宅配貨物・営業利益



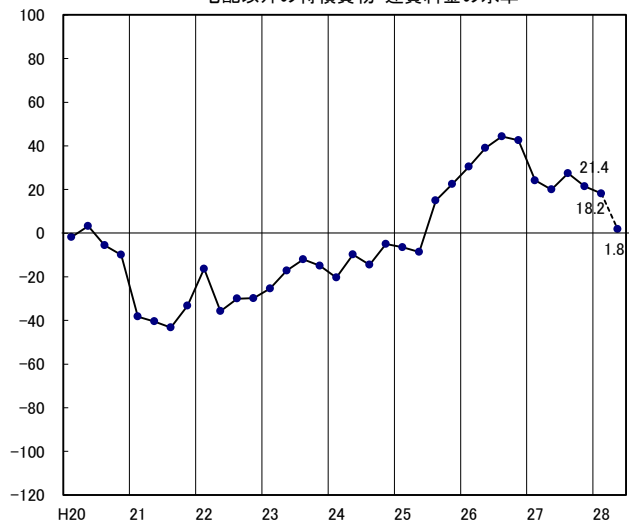
宅配貨物・運賃料金の水準



宅配以外の特積貨物・営業利益

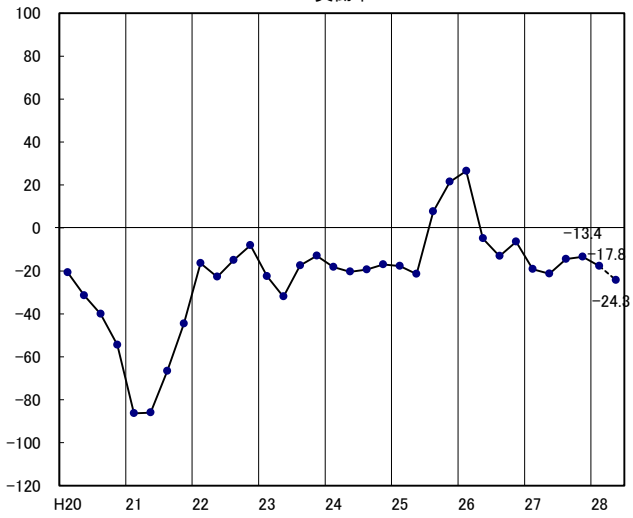


宅配以外の特積貨物・運賃料金の水準

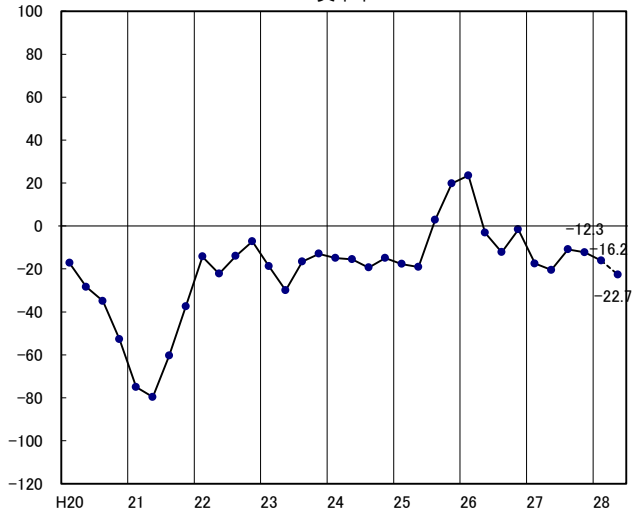


平成20年～平成28年第2四半期見通し

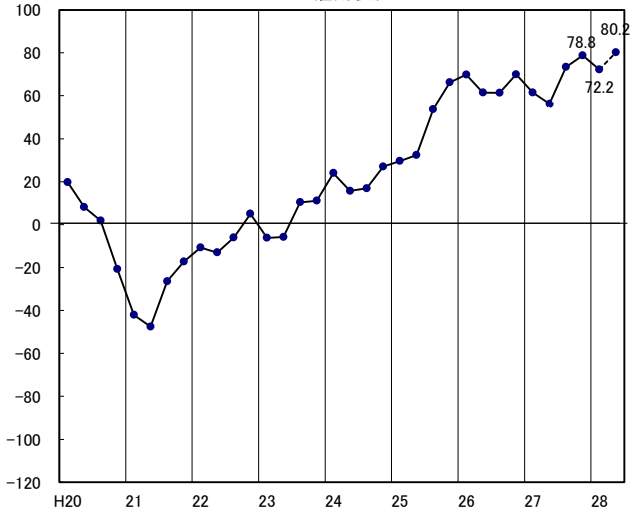
実働率



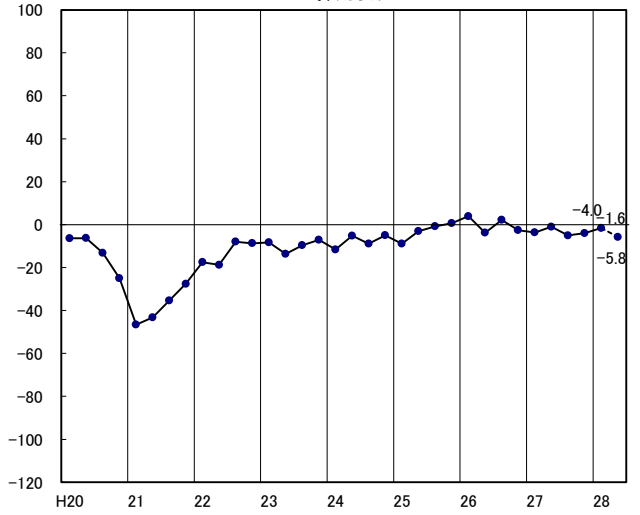
実車率



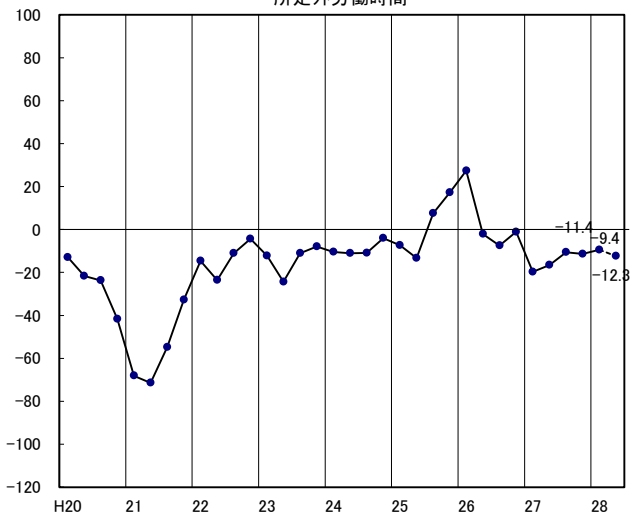
雇用状況



採用状況

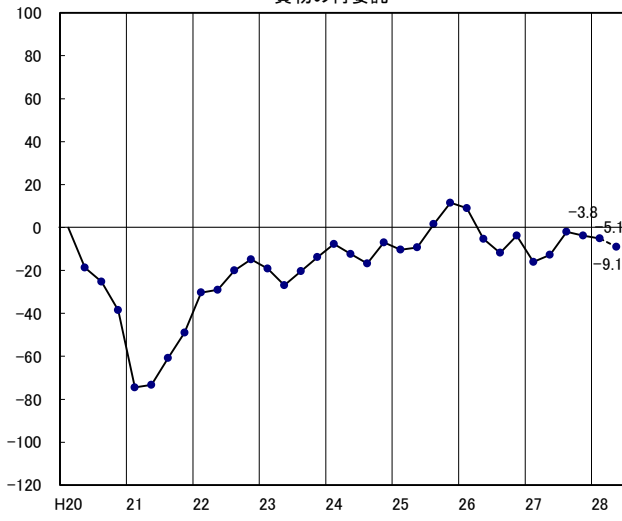


所定外労働時間

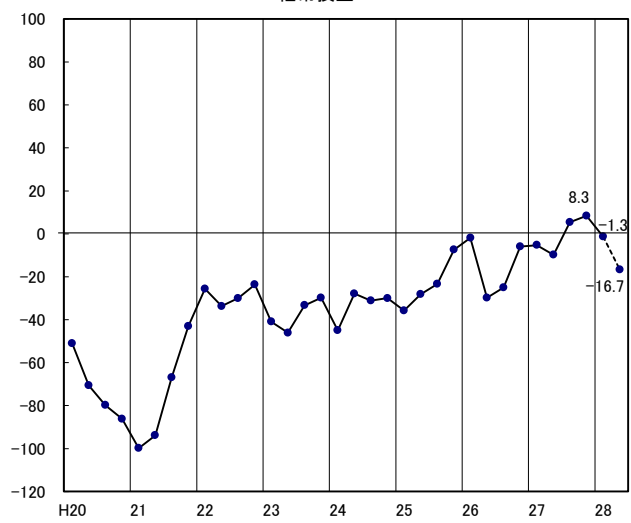


平成20年～平成28年第2四半期見通し

貨物の再委託



経常損益



業界の景況感

